

シニアユニバーシティに出会って

303 高橋香代子

仕事を辞めてから1年間、地域の活動に参加したいといろいろ模索していた私。

そんな時、さいたま市の生涯学習情報「まなベル」に出会いました。係りの方と話していて「自分は少し勉強がしたい」という希望を聞いていただき、シニア大学の入学を薦められました。五月から講座が始まってみると、それぞれの方は志が同じでこれなら楽しくやっていけそうという自信が持てたのです。二回目の講座では早速クラブ活動の結成となり、迷う事なく花好きの集まり「花散策」に参加しその場で代表を小野さんに引き受けてもらい、一回目は 王子飛鳥山の紫陽花紀行となりました。この行動力の速さには感心させられたものです。そして二回目はバスツアーを利用しての巾着田、秩父地方への散策となり同好の志の良さを味わいました。

私は土曜日に何かと用があり講座を休んでしまい、非常に残念な思いをしています。出来る事ならもう一度、真面目に授業を受けたい！ 今そんな気持ちです。

そして花散策のクラブ活動は、これからも長く続きそうで、楽しみにしています。

シニア大学に入学して

304 蓮尾 麗子

早いもので、シニア大学北大宮校に入学して1年が終わろうとしています。

私の入学のきっかけは、夫がシニア大学に入りたいと言いだしたことにあります。退職後は、時間にゆとりができ旅行に行ったり家庭菜園をしたりしていますが、生活の変化が少なくなり緊張感のない緩みっぱなしの生活になっています。体を動かすことも減り、感動することも少なくなってきたなあと自覚しだして、何か生活の変化が必要と考えだしていたところだったので、「それなら、私も。」と、便乗して入学することにしたのです。

深く考えもしないで入学した私ですが、興味深い講義や楽しみな校外学習もあり、入学して良かったと思えました。文化祭では、皆さんの多彩な特技に驚かされました。

巷の良くないニュースなどでは、何かにつけ「65歳以上の高齢者が…」と言われ、年齢だけで決めつけないでと反発を覚えていましたが、それもあまり気にならなくなりました。同時に入学して来られた方々が年齢に関係なく澆刺としているように見え、私も仲間入りしたように感じたからです。今後の生き方を考えるヒントやチャレンジをいただいたと思っています。

幸いに、今までは元気に過ごしていますが、これからは努力して、心も体も脳内も元気を維持して行かなければ、と決意を新たにしているところです。

シニア大学に入学して

305 前田キミエ

5月7日にさいたま市民会館での入学式に出席し、早いものでもう卒業を迎えようとしています。大学?に入学して私の錆び付いた頭で皆さんについていけるか、不安いっぱいスタートでした。

講座の内容は、私達の年代に合った身近なテーマで、講師の先生方のわかりやすくユーモアを交えた語り口に、納得することばかり、大いに近い将来の参考になりました。また合気道、パドルジャークス体操では、仲間と楽しく体を動かすことの楽しさを知りました。

11月1日の文化祭では日程の迫っている中、どうなるかと心配しましたが、いざとなると皆がシニアの底力と団結力を発揮し、素晴らしい一日になりました。広い展示会場が埋まるのか、不安でしたが、所狭ましと皆さんの力作が並び、圧巻でした。皆さんの多趣味、多芸には驚嘆するばかりでした。

一年足らずの間に素晴らしい仲間と出会い、楽しい日々を過ごすことが出来ました。

この出会いを大切に、今後も末永くお付き合いをさせていただければ幸いです。今後とも宜しく願い申し上げます。

駆け抜けた一年間

306 山田 則子

入学したかと思ったのはついこの間・・・もう卒業文集をと思う位のあつという間の学校生活でした。登校日が少ないけど、もう一年学友会は続くとの事でこれからも行事などで皆さんとの交友を温めていく事が出来れば幸いと思います。

一番印象に残ったのは短期間で文化祭を開けた事でした。殆ど練習する期間もなかったのに皆で一体感を持って本番に臨み楽しめたことに感動しました。

沢山の作品の設置を皆で素早くこなし、素晴らしい展示場を作りあげたことも驚きました。今までの生活の積み重ねたシニアならではの感動し、皆様と出会えて良かったと思いました。文化祭実行委員の方々のお骨折りがあったからの事と感謝しております。今後の活動、或いは皆様と大勢の方々と一緒に参加出来るものとして歌う時間等をクラスとして持ち、誰でも歌える童謡・唱歌・抒情歌・愛唱歌・簡単な二部合唱等で交流を深めていけないものかと思ったりしています

年が明けてからは月に一回の授業なので、大学院・専修科へとそれぞれの夢膨らむ皆様との時間が緩やかに進む中、卒業旅行・懇親会等を楽しみつつ、卒業を迎えようとしています。

シニア大学と私

307 江田 雅彦

私は昨年春83歳になった時心身の衰えを実感するようになりました。特に認知症に関しては自己認識がなくなるわけで自身の尊厳を守る為にも何とかしたいと思うようになりました。そんな時シニア大学のことを知り直ぐに申し込みました。80歳以上なので問題なく入学できました。市民会館の入学式に出席し全校の入学生の中に身を置いた時68年前の高校入学式当日にフラッシュバックして身の引き締まる様な高揚感を覚えました。初めてのクラスで班毎に分かれて自己紹介をした時20歳以上若い人もいて改めて自分の年齢を自覚しました。授業が進むにつれてその内容よりもクラスメイトと顔を合わせ、会話をする事のほうがより楽しく感じられるようになりました。私は老化防止の為ウォーキングを日課にしているのでハイキングクラブに入りました。みんなと一緒にハイキングは一人歩きと違って楽しさ倍増です。最大のイベントである文化祭ではお手伝いをするのが精一杯でしたが、3班全員による合唱では気分も若返って本当に楽しむことが出来ました。あっという間に年が変わって卒業式が近づいてきました。学習するというよりも参加する事によって感じられる高揚感を持続する為にもシニア大学院に進むことを考えています。

漂う”少年”

308 木内 勤

”少年の私達を自由の天地に開放し”と賢治から直接その天才の授業を受けることの出来た生徒たちは、教科書を越えた最高の教育を享受したそうですが、指差す先に広がる地平に同じ匂いが感じられ、そこへ実際に行きたいという衝動に駆られた”大学”だったような気がします。

その意志は分岐し細分化して、ネットを介した本を経たりTVや”カルチャーラジオ”を聴取したり”歴史と民俗の博物館”の講演や4期”歴史クラブ”学習会と「歴史めぐり」、それにも増して”史跡めぐりクラブ”メンバーの一員として川越や平林寺を歩けたことこそそのひとつの頂点にして入口だったように思います。

等高線から読み解く歴史的地形図の世界からも、合気道の”いちど背伸びしてみる”ことでの展開からも指し示すものが在ったように思います。

週に3日勤めていることもあり”紋次郎”ばりに責任ある立場を避けた”大学”でしたが、気が付けばいつも巻込まれていたようです。とりわけ文化祭の準備からその祭典のなかで「異邦人」か「変身」ほどの不条理さで急激に投げ込まれた感があり、そうした混沌のなかに漂うのも楽しみになっている”少年”がいるかのようです。

青春時代

309 田口 浩

私は大学生です。年齢は68歳（精神年齢は未成年）。昭和41年に高校を卒業し、念願の東大ではなく、今、さいたま市シニアユニバーシティという大学に通っています。特に入学試験を受けることなく、ハガキ1枚で、この大学に入学することができました。大学は男女共学で、学友たちに会えるかと思うと朝から心がうきうきして、鏡に向かい、「髪型、身だしなみオーケー」と言って大学に出掛けます。講義の方は、時には居眠りをしてしまうことがありますが、大体、真面目に聞いていました。

サークルは、足腰の衰えを防止するためにとハイキングクラブに入りました。秋には、高尾山の紅葉を愛でながら、山道を楽しく歩いてまいりました。

二つ目のサークルは、4期生が立ち上げた歴史クラブに入れさせてもらっています。先輩から親切なご指導を受けながら、日本の歴史を学んでいます。さらに、年に4～5回史跡めぐりを実施していますが、それに併せ予め学習してから現地へ出掛けるので非常に興味深いものになります。

今、向学心に燃え、大学院に進学することを前向きに検討しています。

大学生活を謳歌し、今まさに『青春真っ只中だ!』

シニア大学に入学して

310 南 利勝

私がシニア大学を知るきっかけになったのは、妻が大宮校の第8期生であり、また県活動センターに行き来している様子を見たからです。

70歳を期に、皆様との付き合い、ふれあいも今後の人生では必要と考え入学を申し込みました。

会場も家の近くであり、歩いて行ける事が良かったです。

入学して、40名の仲間ができました、会場に入った時嬉しく思った事も事実です。しかし、受講が進み、クラブ活動があり、年4回の行事がありこれは「大変だ」と思いました。

それが「文化祭」で現実となりましたが「年寄りの知恵、パワー」で乗り切り大成功させた事は大きな誇りです。

何れにしましても年寄りが、多くの友達をつくりこれからの人生に生かされる事を願います。

3班班長、学友会会長として行届かぬ事も多々あったと思いますがありがとうございました。

シニア大学に入学して

311 山野井 正

友人と話をしている時に、シニア大学の事が話題になり、急ぎ資料を取り寄せた。北大宮校は、土曜日に講義があるので受講しようと思い申込んだ。今更、何を学ぶのか、どんな人達がいるか、始めは一寸心配だったが、講座内容を見ると、大分バラエティに富んでいて興味がわいてきた。身近な高齢者の健康、地理、体操などがありとても良かった。講師の方々の熱心さに引き込まれてしまった。

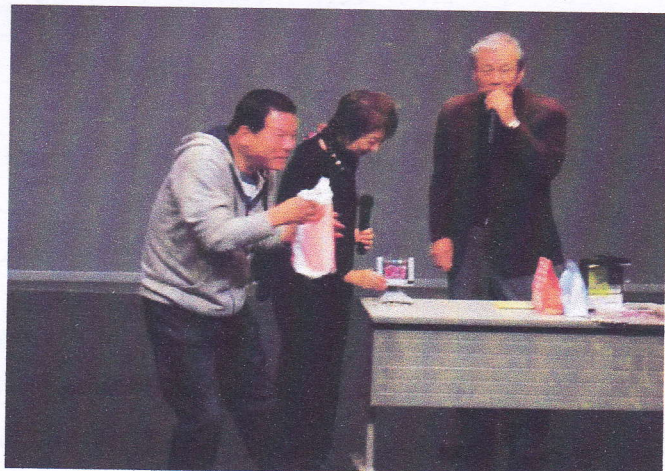
月日の経つのは早いもので一年が経とうとしている。何が楽しかったか？矢張り文化祭だろう…な。準備不足の割に前日の設営は、図面があるわけでもないし、短時間で出来たのは『三人寄れば文殊の知恵』というか、皆の底力だった。又、ホールでの発表会も練習時間が殆んどないのに上出来だった。三班もオカリナ演奏に合わせて、懐かしの歌『故郷』等4曲、合唱出来て良かった。その後のビンゴ大会も盛り上がって楽しかった。元気体操は、明るくて癒された。

クラブ活動は、パソコンにしようと思ったら土曜日でなくて、場所も別会場とか、残念ながら、別の機会に学ぼうと思っている。

生涯、頭も身体も使って、健康で学習しようと思っている。



文化祭
三班合唱



文化祭
三班ビンゴ大会

4班の紹介です～皆、優しく思いやりのある仲間達～



後列左から、石田美智子、高橋春子、小林利子、大西光洋、武藤英雄
前列左から、福元英子、吉岡義伸、西川守、茂木澄子、吉田恭子、(敬称略)

学籍番号	氏名	班役割	所属クラブ	趣味・特技等
401	石田 美智子	受付	健康体操	歌を唄うこと
402	小林 利子	受付、文集	花散策、歴史	俳句、書道
403	高橋 春子	受付	花散策	園芸、カラオケ
404	福元 英子	会計	ハイキング	書、料理
405	茂木 澄子	会計、文集	ハイキング	音楽鑑賞、数独
406	吉田 恭子	司会	パソコン、史跡、歴史	絵、カラオケ
407	大西 光洋	文集	帰宅	ドライブ
409	西川 守	班長	史跡	旅行
410	武藤 英雄	副班長	ハイキング	卓球、カラオケ、読書
411	吉岡 義伸	副班長、会計	パソコン、ハイキング	ゴルフ(目標 100 ラウンド)

・仲間の紹介

・感想断片

☆個性豊かな4班だったが、はじめはみなぎるパワーを内に秘めて活動していた。

☆文化祭では健康体操を披露。廊下で練習をされていて注意されたり、なかなか覚えられずに苦労したりしたが、気持ちを合わせて演技できた。思いのほか好評でほっとした。お揃いの白いシャツを着たので、見た目が良かったのかもしれない。

☆暮れの忙しい最中(12月28日)パレスホテルで、担当の「卒業懇親会」の打ち合わせもあった。食べるのも忘れて語り合い、打ち解けて、楽しいひと時になった。力を合わせてやっていけそうな予感が、皆の心に芽ばえた。

シニア大学を振り返って

401 石田 美智子

これからどう過ごしていったらよいかを少し真面目に考えているときでした。

「自分に負荷をかけ、今よりわずかでも向上したい。」

そんな折、シニア大学の案内を見て入学を決めました。

実のところ不安だらけで途中には、もう無理かなと思うこともありました。

遅刻、欠席が増え、真摯に取り組まれていらっしゃる皆様にはご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。

日々の皆様の授業への姿勢、そして何より文化祭での頑張りには、感心と尊敬の気持ちでいっぱいです。

会場準備、立派な展示作品の数々、舞台発表、司会に至るまでの見事な出来栄えを拝見させていただきました。

まさにお一人お一人のみなぎるパワーを感じる瞬間でした。

大学院へのステップは無理と考えていましたが、皆様からいただいたパワーを今後の自分へと繋げていけたらと、今は前向きに捉えています。

ありがとうございました。

シニア大学に入学して

402 小林 利子

退職後の人生をどのように過ごそうかと考えていた時、友達の紹介でシニアユニバーシティのことを知り、申し込みました。入学後にどんなことを学ぶのかと期待する反面、地域に知り合いも少なく心配もありました。しかし、4班の人達とは文化祭の出し物の練習や、懇親会の仕事の打ち合わせを通し、コミュニケーションを図ったり、協力し合ったりすることができました。打ち合わせの折には、講話をして下さったシェフのお店で食事もしました。また、「花散策クラブ」では、一緒に花巡りをするうちに親しくなり、楽しく会話をするようになりました。「歴史クラブ」では、4期の人とも共に学んだり、史跡を見学したりし、有意義な時間を持つことができました。

シニア大学の勉強は、シニアが生きる上ですぐに役立つ、元気になる楽しい内容が多く、少し肩の力を抜いて学ぶことができました。また、講師の先生方の話に刺激を受け、頭が活性化されました。日々、「きょういく(今日行く所がある)」・「きょうよう(今日用がある)」を自分から積極的に作っていくことで、元気に若々しくいられると思います。シニア大学のおかげで、今後の生活の指針を持つことができました。卒業後も学んだことを生かし、健康に気を付けて前向きに生きていきたいと思えます。

シニア大学に入学して

403 高橋 春子

私は静岡県出身で、さいたま市に住み40年になりますが、埼玉のことはあまり知りませんでした。仕事人間で、職場（東京）と自宅を往復する生活でした。定年を迎えてみると、友人も周りにはいなく、地域との交流もなかった事に気が付きました。

今回シニア総合大学で埼玉のことを学ばせて頂き興味を持ちました。中でも「地図で紐解く埼玉」、「氷川神社の歴史」はとても勉強になりました。その他に**1**、賢い消費者（悪徳商法に騙されない）*既にいくつか騙されていまして、大変勉強になりました。又、相続税、財産管理、財産分与など、とても参考になりました。**2**、合気道「正しい姿勢と精神統一」*教えられたことは、人にも教え、自分でも毎日実行しています。**3**、バトル体操 *楽しみながら身体を動かしました。その他終活認知予防、栄養学、手相。これらの授業を、遠方から出向いて懇切丁寧に教えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。一年間で、全て覚えられる年代ではありませんが、大切なポイントは次世代に伝えていきたいと思っています。4月からの予定は、基礎にもどり「福祉専科」でスキルアップし、健康な限り社会貢献していきたいと思っています。皆様有難う御座いました。またお逢いしましょう。

入学の動機

404 福元 英子

「シニア大学に入っている人達はみんないい人ばかりだよ」、これが大宮中央校第6期生の主人の口癖、そして前日から着て行く服を見立て、それ以外は何も手に付かない楽しそうな主人を見ていると、羨ましくもあり、妬みもあり、腹立たしい日々でした。それなら私も入学してみようと思ひ立ち、これまで40年以上も勉強してきた書の道を少し放り投げて入学しました。“井の中の蛙”だったかも知れません。

シニア大学の班やクラブの仲間とは、利害関係も無く、距離も手頃で、経験豊かな方々ばかりで、連帯感の中から物事を的確に処理されて行く力を垣間見ることができました。書道の方では人間関係に悩まされ苦勞が絶えませんでした。良い作品が出来た時の達成感感慨深いものでしたが、さすがに疲れました。

隔週の講座も各分野の専門の講師の方々のお陰で楽しく、のんびり受けました。文化祭には急用で参加出来ず寂しい思いをしましたが、文化祭の看板を3枚書かせていただくことで皆様と御一緒させていただいた気持ちになりました。

ハイキングクラブでは、笑いの絶えなかった高尾山が良い思い出でした。これからの活動を楽しみにしております。

シニア大学日記

405 茂木 澄子

《5月16日》 初日、皆さん少し緊張の面持ち。それ以上なのが私。自分の座る場所を間違え、2班のところに座ってしまう。しかも最後まで。大丈夫だろうか。

《9月19日》 合気道の授業は楽しかった。知らない世界に触れることは、いいなあと思った。心の落ち着け方など、日常で出来るかもしれない。

《11月1日》 文化祭は、展示物が充実。出し物もアットホームな雰囲気の中、大いに楽しめた。4班は健康体操。練習不足を白のウェアでそろえてカバー。何かいい感じ。満足、満足。不安も吹っ飛び、力を合わせる大切さを久しぶりに実感。

《11月9日》 クラブで高尾山に行く。私は初めてなので、全行程を楽しむ。企画してくれた方有難う。何よりその後教室で、打ち解けた挨拶を交わせたことがうれしい。

《12月28日》 4班の懇親会。パレスホテルでランチ。授業で教わったことの実験。しかし、卒業式後の懇親会担当なので、打ち合わせに余念がなく、味は？でした。その後バックヤードを見学させてもらう。なかなか興味深かった。

《1月某日》 今までの授業を振り返ってみる。どの先生の話も説得力があり、生き生きと輝いておられた。先生方に少しでも近付きたいと思った。シニア大学良かったな。

シニア大学に入学

406 吉田 恭子

授業は、色々な分野の先生のお話で 興味のある知らない世界の話を 沢山聞く事ができました。中でも手相の話は 面白く、興味津々でした。これからの人生自分に向いている傾向は何か？手相とは統計学だと言う事も面白かったです。

又、公共施設マネジメントでは市の施設が老朽化したのでどの様にしたら良いか？保育園と老人ホームを一緒にするとか 税金を使って無駄の無いように等、家に居ると余りにしない事への関心も持つ事が出来ました。

そして、パソコン部にも入り解らない事だらけの私に、3人の先生が丁寧に教えて下さり、出来ずに自己嫌悪に陥りながらも続けています。

その他「史跡クラブ」これは 部員の方が資料を作って下さりこれを基に見学します。ガイドさんが付いて色々な話を聞けるのは興味深く勉強に成りました。

お昼は皆さんとランチをしながら次の予定。 帰りは居酒屋で盛り上がり・・・

大学に入って本当に良かったと思っています。これも面倒を見て下さった関係者や会の皆様のお陰だと深く感謝しています。

皆さま 本当に有難うございました。

シニア大学に入学して

407 大西 光洋

此のシニア大学に入学したのは、私にとって、今後の人生においてプラスになるものが得られるのではないかと考え入学しました。

一年間を振り返ってみれば、入学当初は、全講座を聴講し出来る限りの知識を学び自分のものとして身に着けようと言う気持ちでした。

しかし、現在も現役で働いているので平日の講座にあまり参加できませんでした。又、文化祭にも参加が出来なかった事が非常に残念で成りません。

クラブ活動も、・・・クラブに入部したものの仕事の関係上、参加が出来なくなり退部することに成りました。今後、学友会に参加の機会があればと思っています。

今回、シニア大学に入学して良い経験をさせて頂いたことは、勉強だけではなく色々な方々と出会えたこと、文集の編集に関われた事です。

此れからは、授業で学んだ様々な事を参考にして、今後の人生に活かし楽しいセカンドライフにして行きたいと思います。

この様な機会が、得られたことに感謝したい。有意義な時間を過ごさせて頂きました。

シニアユニバーシティの一年

409 西川 守

年齢が満65歳となり、長年勤務した職場を完全退職し、高齢者の仲間入りをした。そして、「これから学ぶべきことは何なのか」と考えた時、そのヒントが得られるのではないかと思い、シニアユニバーシティに入学した。また、同世代の人たちと忌憚のない交流が出来ればとも考えた。

今、文集の原稿を書くために、受講のたびに配布された資料をなつかしく読み返している。実際の講座は、楽しいものもあれば、ためになるものや、これからの人生に役に立つと感じたものもあった。例えば、「手相は本当に役に立つ」とのお話は、人生を前向きに生きることの大切さを教えてくれた楽しい講座だった。また「どう生きるか“ピンコロ人生”《終活》」も、これからの第3の人生と重ね合わせて興味深い内容だった。さらに「異文化の理解」も、今、世界の人々から、最も注視されているイスラム教を理解するためには、格好の講座だと思えた。印象に残った講座は、今一度読み返し、今後の人生に役立てたいと考えている。

同窓となった学友たちは、皆、意欲的で向学心に燃えており、触発されることが多かった。心より感謝申し上げたい。